

一般質問通告書一覧表

令和6年第2回 南九州市議会定例会

質 問 者	質 問 事 項 及 び 質 問 の 要 旨	答 弁 者
1 米満 孝二	1 新庁舎建設に伴う地域振興について (1) 市温泉センターについて、それぞれの施設に答申が出されているが、今後どのように進めて行くのか考えを問う。 (2) 知覧庁舎跡地については、地域の意見を取り入れながら進めて行く説明を受けているが、その時期について問う。 2 ひまわりバスについて (1) ひまわりバスの拠点間バスについて、霜出げんき館で乗り換えがあることから利用しづらいとの声を聞くが、他の生活交通バスと併せてひまわりバスの運行について、全体的に見直す考えはないか。	市 長 市 長
2 蔵元 慎一	1 施政方針について (1) 「南薩の中心地となる街づくりに取り組む」とあるが、市長が目指す街づくりのためにどのような施策に重点を置き、進めていくのか問う。 2 ICTを活用した教育の情報化の推進について (1) 令和3年度に導入されたタブレット端末は、4年目を迎える。国は更新に向けての準備を始めたが、本市に於ける現状と課題について示せ。	市 長 教育長

質 問 者	質 問 事 項 及 び 質 問 の 要 旨	答 弁 者
3 内園 知恵子	1 不登校について (1) 全国的に不登校の小中学生が増加し続けているが、本市の現状と今後の対策を問う。 (2) フリースクールについて、本市の現状と見解を問う。 2 介護報酬改定について (1) 本年4月から訪問介護サービス基本料の引き下げが示されたが、本市事業所について、運営に支障が出ると思われるが市の見解と対策を問う。 3 自衛隊への情報提供の除外申請受付期間について (1) 自衛隊への情報提供の除外申請受付期間が短いため、除外申請受付期間を延長する考えがないか問う。	教育長 市 長 市 長
4 大倉野 忠浩	1 地域計画（人・農地プラン）の進捗状況について (1) 地域の関係者との協議を進めているが、進捗状況は地域間で大きな差が出ていると思われる。令和7年3月までの計画策定に向けて、具体的な進捗状況を問う。 2 支所機能の管理体制について (1) 支所管内の市道・農道・水道管路等のライフラインの維持については、過去の質問で支所の人員配置については、行政需要等に応じた見直しを行いながら対応し、新庁舎開庁時には支所長の権限で予算化して修繕・応急処置等の業務対応をしていくとの執行部の答弁に変更はないか。 3 大規模災害時における国の初動体制組織の要望について (1) 第4次組織機構再編計画による定員適正化計画が進んでいる現状では、能登半島地震クラスの災害が発生した場合、自治体のみでは到底対応できないと考えるが、最優先の道路・水道等のライフラインの早期復旧には、県・国が積極的に現地に対策本部を設置するなど、自衛隊等の先導する組織の構築を要望する考えはないか。	市 長 市 長 市 長

質 問 者	質 問 事 項 及 び 質 問 の 要 旨	答 弁 者
5 しい 千恵	1 新庁舎建設と人口減少に伴う財政運営の在り方について (1) 市長選挙において、新庁舎建設中断を掲げた候補者の 7,054 票の民意に対して、市長の考えを問う。 (2) 市民団体が 65 億円での新庁舎建設に関して、住民投票条例請求を求めて署名活動を進めているが、市長の考えを問う。 (3) 現在の新庁舎建設計画を中断し、45 億円規模の新庁舎を建設して市の人口を増やす取り組みや、子育て支援を充実すべきだと考えるが、市長の見解を問う。 (4) 新庁舎建設を進めるにあたり既存の 3 庁舎の改修計画等が事業費、財源及び将来負担も含め示されるべきだと考えるが、市長の見解を問う。 (5) 新庁舎建設後に、どのような街づくりのビジョンを描いているのか、市長の見解を問う。 (6) 令和 6 年 1 月 26 日付の新聞報道で、本市は人口減少が進み限界自治体になる見込みであり、財政運営が困難になると予想されているが、今後の財政運営の対策を問う。	市 長

質 問 者	質 問 事 項 及 び 質 問 の 要 旨	答 弁 者
6 日置 友幸	1 市役所新庁舎建設について (1) 総事業費について、基本計画時は約 45 億円と見込んでいたものが、基本設計時点では約 65 億円となった。増えた 20 億円のうち、約 10 億円は国の負担となるが、残りの約 10 億円は市が負担する見込みである。この増えた分を後世に負担させないため、合併推進債の返済が本格的に始まる 2030 年を目標として、10 億円の減債基金を積み立てる考えはないか。 2 防災における性的多様性について (1) 東日本大震災、熊本地震、能登半島地震など大規模災害の度に、地域防災計画策定や避難所運営における女性の重要性が取り上げられている。本市の地域防災計画及び避難所運営において、性別に偏りのない取組を推進する考えはないか。 3 コロナ禍で各種機会を制限された児童生徒に対するフォローアップについて (1) コロナ禍により修学旅行が制限された学年の児童生徒を対象として、本市観光事業者による予約を条件として、県外旅行に使えるクーポンを発行する考えはないか。 (2) コロナ禍で縮小開催及び中止となった児童生徒対象の事業を洗い出し、今からでも市としてフォローアップできることはないか検討する考えはないか。	市 長 市 長 市長・教育長
7 取違 博文	1 B＆Gプールについて (1) B＆Gプールが休止状態であるが、今後の在り方について問う。 2 市温泉センターについて (1) 令和 6 年度以降も存続予定の市温泉センター（えい中央・えい別府・ふれあいセンターわくわく川辺）が老朽化しているが、今後の在り方について問う。	市長・教育長 市 長

質 問 者	質 問 事 項 及 び 質 問 の 要 旨	答 弁 者
8 鮫島 信行	1 知覧茶流通拠点施設について (1) 近年、茶業を取り巻く環境は厳しく、茶価が低迷し、さらに肥料・農薬代など生産費も 1.5 倍になり、経営が苦しく、茶業を廃業する農家も多く、また、後継者も育たず他の仕事に就き、茶業従事者が減少している。 これには既存の流通システムの影響も大きく、平成 29 年度に銘柄統一したメリットを最大限に活かすためには、知覧茶流通拠点施設を整備して品質の安定化と流通経路を一元化することが必要だと考えるが、知覧茶流通拠点施設の整備に向けた協議会を設置する考えはないか。	市 長
9 川畑 実道	1 燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会について (1) 本大会が市民にどのような効果をもたらしたか。また、今後その成果を本市のスポーツ振興及び観光振興等にどのように生かしていく考えか。	市長・教育長
10 西山 英一	1 サツマイモ基腐病について (1) 令和 5 年度の発生及び被害状況並びに農薬の登録状況と今後の対策について問う。 (2) サツマイモ基腐病の残渣処理場について、汚染水が出ている等の間違った情報が流れていると聞くが、市の認識と対応について問う。 2 J R 指宿枕崎線について (1) J R 九州から今後の本路線のあり方について県や沿線自治体と検討していくとの発表があったが、沿線自治体としての市の見解及び今後の対応を問う。	市 長 市 長
11 村方 直己	1 南九州市の交通アクセスについて (1) 本市の魅力向上には、既存の交通アクセスを見直し、利便性の向上を図る必要があると考えるが見解を問う。	市 長

質 問 者	質 問 事 項 及 び 質 問 の 要 旨	答 弁 者
12 菊永 忠行	1 小作料について (1) 塩屋農地開発地区の賃貸借農地に係る小作料は、工事負担金の支払いが終了した時点で見直すこととなっていたが、現在の状況と今後の対応について問う。 2 市長及び市議会議員の選挙について (1) 令和5年12月10日投開票の市長及び市議会議員選挙の投票率について、過去の市長及び市議会議員選挙とすると大幅に減少しているが、その理由と対策について問う。 (2) 選挙公報が有権者に配布される前に移動期日前投票が行われるため、有権者が投票に苦慮していると聞くが、どのように考えるか。	農委会長・市長 選管委員長
13 角 貞己	1 有害鳥獣対策について (1) 有害鳥獣による農産物被害が多く見受けられるが、被害が減らない要因として有害鳥獣捕獲の免許保有者減少と有害鳥獣捕獲後の処分に課題があると考えているが、これに対して市の見解と対策を問う。	市 長
14 上赤 秀人	1 南九州市の現状と今後について (1) 市長選挙の結果をどのように捉え、本市の未来像をどのように描いているか。 (2) 人口減少対策が喫緊の課題と考えるが、具体的方策をどのように考えているか。 (3) 旧3町の均衡ある発展について、具体的方策をどのように考えているか。 2 支所機能の確保について (1) 市道等管理作業班職員の高齢化が進んでいるが、今後の体制をどのように考えているか。 (2) 多面的機能支払交付金事業（中山間直接払を含む）について、事業の重要性から支所に専属の担当職員を配置する必要があると考える。また、交付金事業と関連性がある広域協定事務職員の座席も隣接して配置する必要と考えるが、どのように考えるか。	市 長 市 長

質 問 者	質 問 事 項 及 び 質 問 の 要 旨	答 弁 者
15 山下 つきみ	1 交通弱者対策について (1) 本市では、地域コミュニティバス、予約型ひまわりタクシー等が運行されているが、コースが限定されているため、利用者から利用しづらいとの声がある。 利用者の外出のニーズにあった交通手段を提供するため、全国で普及している「チョイソコ」送迎サービス事業を導入する考えはないか。	市 長
16 吉永 賢三	1 南九州市地域イベント等開催補助金について (1) 地域や各種団体のイベントが、コロナ禍の影響や物価高騰などにより規模縮小や休止となり、再開や継続を悩む状況が出てきている。地域の交流の場や経済浮揚を図るため、補助金額を増額する考えはないか。 2 水道事業について (1) 中古住宅購入や新築の際に市水道本管が周辺に整備されてなく、新規の本管布設工事の受益者負担が大きいため、市水道を利用できないとの声を聞くが、受益者負担を軽減する考えはないか。 (2) 地震や災害等に備え水道施設の万全の対策が必要と考えるが、本管の更新や布設替えの状況と今後の対策を問う。また、事業の進捗を図るために水道料金の引き上げを検討する考えはないか。	市 長 市 長